

授業科目 アスレティックリハビリテーション実習

【担当教員名】 柵木 聖也、永野 康治		対象学年	4	対象学科	スポ	
		開講時期	後期	必修選択	選択	
		単位数	1	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	◎	◎	◎	◎		
【概要・一般目標：G10】 基本的なトレーニング理論に対する理解を基盤として、より実践的な体カトレーニングの実施方法、および部位別の個々のスポーツ傷害に特化したアスレティックリハビリテーション実施方法を学ぶ						
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 上肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。 2. 体幹のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。 3. 下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。 4. アスレティックリハビリテーションの中で用いられる体カトレーニング的な手法について学ぶ。 5. 各種のスポーツ傷害を受傷した選手に対する一連のアスレティックリハビリテーションをシミュレーションする。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	上肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション（1）肩関節前方脱臼					
2	上肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション（2）投球傷害肩					
3	上肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション（3）肘 MCL 損傷、上腕骨内外側上顆炎					
4	体幹のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション（1）頸椎捻挫					
5	体幹のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション（2）腰部疾患					
6	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション（1）足関節捻挫					
7	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション（2）膝 MCL・ACL・MM・LM 損傷					
8	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション（3）大腿伸筋・屈筋群の肉離れ					
9	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション（4）鷲足炎、膝蓋大腿関節障害、タナ障害等					
10	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション（5）扁平足障害、脛骨過労性骨障害					
11	アスレティックリハビリテーションのケーススタディ					
12	アスレティックリハビリテーションのシミュレーション1					
13	アスレティックリハビリテーションのシミュレーション2					
14	アスレティックリハビリテーションのシミュレーション3					
15	まとめ					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		公認アスレティックトレーナー 専門科 目テキスト1～9	(財) 日本体育協会	(財) 日本体育協会		
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 全出席を前提とし、筆記試験を実施する。			【履修上の留意点】 基本的には、日体協公認 AT 資格取得希望者向けの開講科目である。			